

外国語

外国語科においては、具体的な課題等を設定し、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら、目的や場面、状況などを意識して、表現などの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用する学習の充実を図ることが大切です。

◆ 「内容のまとめり」の考え方

外国語科における「内容のまとめり」は、学習指導要領の「第2 各学年の目標及び内容」「1 目標」に五つの領域ごとに次のように示されています。領域別の目標の記述は、資質・能力を三つの柱を総合的に育成する観点から、一文ずつの能力記述文で示しています。

〔話すこと [やりとり]〕 ※一部抜粋

ア (略)

イ (略)

ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。

◆ 内容のまとめりごとの評価規準の作成

【〔話すこと [やりとり]〕の内容のまとめりごとの評価規準 (例)】

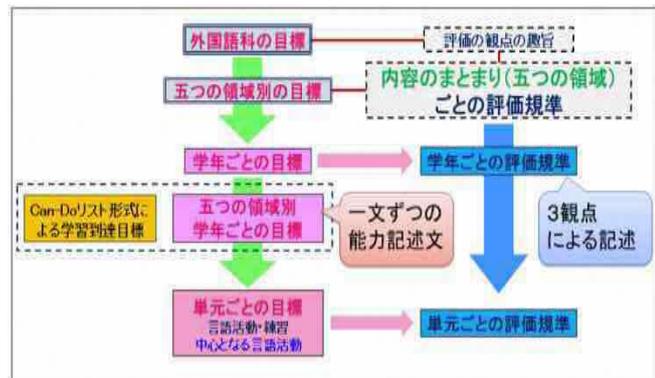
- ① 「内容のまとめり」の記述が、観点ごとにどのように整理されているか確認します。

※「観点ごとのポイント」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」中学校外国語 (30～31ページ) を参照してください。

- ② 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。</p> <p>〔技能〕 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。</p>

【評価規準を作成する際の手順 (例)】



◆ 単元の評価規準の作成

【「話すこと [やりとり]」の評価規準の設定 (例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 【言語材料】について理解している。</p> <p>〔技能〕 【事柄・話題】について、聞いたり読んだりしたことについて、【内容】を【言語材料】などを用いて、述べ合う技能を身に付けている。</p>	<p>【目的等】に応じて、【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を、簡単な語句や文を用いて述べ合っている。</p>	<p>【目的等】に応じて、【事柄・話題】について聞いたり読んだりして、【内容】を、簡単な語句や文を用いて述べ合おうとしている。</p>

【言語材料】には、当該単元で扱う言語材料が入ります。

【目的等】には、当該単元を中心とする言語活動の中で設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況などを、「〇〇に応じて」「〇〇するよう」などの形で入ります。

【事柄・話題】には、当該単元で扱う社会的な話題等が入ります。

【内容】には、当該単元の言語活動で伝え合う、【事柄・話題】に関する事実や自分の考え、気持ちなどが入ります。

外国語科においては、各単元で取り扱う事柄や言語材料、当該単元を中心とする言語活動において設定するコミュニケーションを行う目的や場面、状況、取り扱う話題などに即して設定することになります。

例えば、ONE WORLD English Course3 Lesson2 では、次のような単元の評価規準を作成しています。

【単元の評価規準 (例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>〔知識〕 現在完了形や現在完了進行形の特徴やきまり、引用するための表現を理解している。</p> <p>〔技能〕 北海道のワシに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして伝え合っている。</p>	<p>友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、北海道のワシに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして伝え合っている。</p>	<p>友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、北海道のワシに関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたことなどを、英文を引用するなどして伝え合おうとしている。</p>

※実際の指導と評価に当たっては、他の領域（「読むこと」など）の評価規準を設定することが考えられます。

◆ 学習評価に関する事例

1 単元名 (小単元)

ONE WORLD English Course3 Lesson2 「The Eagles in Hokkaido」

2 内容のまとめ

第3学年 「話すこと [やりとり]」ウ

3 単元の目標

友達の意見等を踏まえた自分の考えや感想をまとめるために、北海道のワシについて書かれた文章を読み、読んだことを基に考えたことや感じたことを、英文を引用したり内容に言及したりしながら伝え合うことができる。

4 単元の評価規準

※前ページ【単元の評価規準 (例)】を参照

5 指導と評価の計画 (7時間)

※網掛けは、評価したことを記録に残す場面

時数	ねらい (■)、主な言語活動等 (丸数字)	知	思	態	評価方法
1	■単元の目標を理解する。 ■教科書の対話文を読み、教科書本文を引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ①自己目標を設定する。 ②教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。 ③対話文で使われている未知の語の意味や現在完了形(継続用法)の構造と意味を理解する。 ④英文を引用するための英語表現を学ぶ。	○			
2	■教科書本文とは別の対話文を読み、引用するなどしながら、考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ①対話文を読み、引用しながら、考えたことや感じたことを現在完了形の英文を使ってペアで伝え合う。		○	○	
3	■教科書の対話文(第1時で読んだ対話文の続き)を読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ①教科書の対話文を読み、読み取れた内容に関する自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。 ②対話文で使われている未知の語の意味や現在完了進行形の構造と意味を理解する。 ③前時までに学んだ引用方法を確認し、それを意識して再度、別のペアで伝え合う。	○			
4	■教科書本文とは別の対話文を読み、引用するなどしながら、考えたことや感じたことを伝え合う。 ①対話文を読み、引用などしながら、考えたことや感じたことなどをペアで伝え合う。 ※②以降は第3時の②、③と同じ。		○	○	
5	■教科書のレポート(第3時で読んだ対話文の続き)を読み、引用するなどしながら考えたことや感じたことなどを伝え合う。 ①教科書のレポートを読み、引用しながら自分の考えや感じたことなどをペアで伝え合う。 ※②以降は第3時の②、③と同じ。		○	○	
6	■ピクチャー・カードを使い、現在完了形や現在完了進行形などを正しく用いながら、教師やALTに教科書の全ての本文内容について説明する。 ①ペアになり、相手を教師やALTにみたてて、教科書本文内容についてピクチャー・カードを使いながら説明する。 ②一人一人が教師やALTに教科書本文内容を説明する。	○			行動観察 ワークシート
7	■初見の文章を読み、引用するなどしながら、考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合う。 ①スピーチ原稿を読み、考えなどをペアで伝え合う。 ②自己目標の達成状況を振り返り、次の課題を明確にする。	○	○	○	行動観察 ワークシート
後日	パフォーマンステスト	○	○	○	

【POINT】
 第6時までは記録に残す評価は行いませんが、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行います。また、活動を通して、目標達成に向けた指導を行うよう十分留意する必要があります。

【POINT】
 評価に当たっては、「知識・技能」の評価規準に照らして、現在完了形等を使用しなくてはならない文脈で用いることができるかを観察し、自分の考えなどを伝え合う技能を身に付けているかを評価します。

【POINT】
 パフォーマンステストに至るまでの指導としては、複数単元を通じた表現の適切さという点(内容面)、英語使用の正確さという点(言語面)の2点からの指導や、単位時間においても、目的や場面、状況などを理解させた内容面と言語面からの指導が求められます。

※実際の指導と評価に当たっては、他の領域(「読むこと」など)の評価規準を設定し、「指導と評価の計画」を立てることが考えられます。